



# 例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988  
大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 門前 庄次郎
- 幹事 田中 正躬
- 会報委員長 黒木 正人



「おなじ星を見ていた - ギャリックスの架かる虹 -」より  
ほたるの海 内田 新哉

## <会長の時間>

先日気象庁から7月は30年に一度有るかどうかの異常気象(猛暑)だったと発表されました。高山に於いても暑い毎日が続きました。この暑さは当分続くようです。体調の管理にお気を付け頂きたいと思います。



さて、今年度の地区の重点目標の一つに『ロータリー賞・RI会長特別賞に挑戦しよう。』との項目が有り、この事を念頭に置きながら活動したいと思っています。

以前はRI会長賞と言われていましたが、現在はロータリー賞と言うようです。達成するには毎年課題は変わり、今年度は以下の様な大きな項目が3つあります。『クラブのサポートと強化』、『人道的奉仕の重点と増加』、『公共のイメージと認知度の向上』です。そして3つそれぞれに小さな項目が6つ有り、その中から3項目以上を達成すれば良いとの事です。

内容を見ますとハードルの高いものも有れば、現状の活動の中で達成出来る項目も有る様に思います。活動して行く中でロータリー賞に挑戦すると言う事だけでなく、地区重点目標を意識しながら活動する事を大切にし、結果として一つでも多くの項目が達成出来、『ロータリー賞』にたどり着くことが出来れば良いと思っています。

そこでまずお願いしたいのは、『クラブのサポートと強化』の処のマイロータリーから生年月日を登録する処の部分です。マイロータリーに登録頂くと、ロータリーに関する色々な情報を得られたり、他のロータリアンとの交流も出来るようで、有意義な活用が出来ると思います。そしてこの登録を第一歩としたいと思います。ただ登録するには、事務局との連携が必要なので、事前に連絡をお願いしたいと思います。

毎年の課題である会員増強も含め、全員で向かって行く事が大切だと思います。今年度の大きな目標としてやって行きたいと思っていますので、協力をお願いします。

## <幹事報告>

### ◎ガバナー、地区青少年交換部門委員長より

- ・第1回夏期受入学生オリエンテーションおよび帰国学生報告会開催のご案内

日時 8月19日(日) 午前11:00~  
場所 ホテルグランヴェール岐山  
出席要請者 今7・8月帰国学生・ご両親

### ◎はぐるま会 会長より

- ・第190回はぐるま会開催のご案内

日時 11月18日(日) 10:30スタート  
場所 飛騨高山カントリークラブ  
表彰式 高山グリーンホテル 18:00~  
会費 5,000円 申込締切 10/31

## ◎RI日本事務局より

- ・「会員増強・新クラブ結成推進月間」リソースのご案内  
「Rotary Shop 知っていますか?」

## <受贈誌>

(社)高山市文化協会 (広報高山の文化No200,)

## <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	30名	2名	32名	40名	80.00%
本日	33名	-	33名	40名	82.50%

## <本日のプログラム>

### お祝い

#### ◎会員誕生日

垣内 秀文 8.27

#### ◎夫人誕生日

古橋 直彦  
直子さん 8.16

#### ◎結婚記念日

ナシ

#### ◎出席表彰



井辺 一章 20年  
下屋 勝比古 1年  
杉山 和宏 3年

#### ◎在籍周年記念表彰

ナシ

インスピレーションになろう

# 例会報告

## ◎3ヶ月表彰

・伊藤 松寿 ・井辺 一章 ・下屋 勝比古 ・杉山 和宏  
・田中 武 ・田中 正躬 ・米澤 久二

## 会員増強委員会

### 会員増強委員長

山下 直哉

本日の会員増強委員会担当例会は、先ほど門前会長が「会長の時間」でも触れられました。ロータリーのウェブサイト『マイロータリー』にて公開されています。資料を利用して行います。



### オンラインのリソースと研修

- ・ クラブの健康
- ・ 会員増強のための評価ツール
- ・ 入会の促進
- ・ 会員の参加促進
- ・ 新会員オリエンテーション
- ・ 会員増強計画



LEARN.ROTARY.ORG

ロータリーの一番大切な財産は会員です。堅固な会員基盤があれば、クラブに活気もたらされ、クラブの存在感が高まり、地域社会でのロータリーの奉仕力がさらに高まります。ロータリーが時代に沿った存在であり続け、会員の期待に応え続けるには、革新と変化を取り入れ、多様な会員を迎え入れていく必要があります。

2017年7月1日現在

ロータリアンの数は、1,202,936人で、前年よりも482人少なくなっています(482 fewer than the previous year)。全世界の会員数は過去15年間横ばいですが、クラブ数は増えています。

クラブ数は35,656クラブで、前年よりも257クラブ増えています。昨年からは会員数は減っていますが、クラブ数は増えています。これは、ロータリーが活動する地域社会の範囲が広がり、奉仕活動の力が高まっていることを意味します。

2015-16年度には、886の新クラブが設立されました。従来ロータリーは、新クラブの結成を通じて成長してきたといえます。多様な会員を迎え入れ、異なる時間帯、頻度、形式で例会を開いているクラブも多くなっています。

クラブの平均会員数は34人です。最も多いのは会員20人のクラブです。この5年間、全世界のロータリー会員数は約120万人のレベルにとどまっています。これは、入会促進、会員基盤の多様化、既存会員の参加促進の努力を続けてきた結果であるといえます。

これと同じ期間、ロータリーでは、新会員と既存会員にとってロータリーが魅力ある団体であり続けるために、新しい会員種類、例会の頻度と形式の多様化、柔軟な出席要件等を取り入れてきました。このような柔軟なクラブ運営は、会員のニーズに応える優れた方法であることが実証されつつあります。

過去5年間、アジア地域で会員が約50,000人増えており、アジア地域の会員数は全世界のロータリアンの32%に当たります。これと同じ期間、カナダ、カリブ海諸島、米国では会員数が約15,000人減っており、以前はこの地域の会員数が全ロータリアン数の34%

を占めていましたが、今では29%となっています。ほかの地域では、会員の割合(%)に大きな変化は見られません。ただし日本では、長い間会員数が減り続けていたものの、現在は会員減少が和ぎ、会員数が増え始めています。これは明るい兆しといえます。

人口統計的に興味深いデータを見ることもできます。現在、全世界の会員の79%が男性で、女性は21%にすぎません。ただし、世界的にみると、この割合には地域差があり、地区やクラブによっても格差があります。例えば、香港、台湾、米国の一部地域では会員の30%が女性ですが、インドではわずか10%です。

会員の年齢層については、未報告である場合が多く、明らかな現状がわかりづらくなっています。ロータリークラブ・セントラルにある情報を見ると、会員の大半は50~69歳となっています。「多様性」はロータリーの中核的価値観の一つです。会員が多様であれば、さまざまな視点を取り入れ、多角的に問題にアプローチできます。ロータリーがこれからの100年間も存続するには、クラブが地域社会の人口構成を反映した会員基盤を築く方法を考えなければなりません。その一つの方法は、入会候補者として、女性、若い職業人、学友、ならびに最近定年退職した人びとに目を向けることです。ほかの団体では味わえないロータリーの良さは何かを考え、これらのグループにアピールすることが重要となります。

ロータリーに毎年入会する15万人の人は、ロータリーを通じてより良い世界を築き、地域社会に貢献し、新しい友人を築き、知識やスキルを磨くチャンスに恵まれます。しかし毎年、ほぼ同じ数の会員が退会しています。また、新会員の12%が、入会后1年以内に退会しています。退会が特に多いのは、入会后の最初の2年間、および入会から10年を過ぎてからです。ただし、そのほかの時期にも会員が退会する可能性はあるため、新会員、ベテラン会員を問わず、すべての会員がクラブでの体験に満足できるようにすることが重要です。

退会者の大半が、「会費・時間の負担」「クラブの環境」「期待にそわない」の3つの理由のいずれかを挙げています。満たされなかった期待には、ボランティア活動と地域社会への参加、友情、ネットワーク(人脈)づくり、奉仕プロジェクト、イベントなどが含まれます。元会員を対象にアンケート調査を行ったところ、その43%が、所属していた元クラブへの入会を薦めない、と答え、35%がロータリーへの入会を薦めない、と答えています。ロータリアンにとってのロータリーの価値は主に3つあり、それは社会奉仕、ネットワーク(人脈)づくり、友情です。新会員の多くも、社会貢献や国際奉仕の機会を求めてロータリーに入会します。このような期待がロータリーで満たされないと、せっかく入会しても退会してしまうでしょう。

ロータリーでは、地域社会での奉仕、ロータリアン行動グループや親睦活動グループ、経験豊かな先輩から受ける指導など、さまざまな形で参加できます。大切なのは、それぞれの関心に応じた参加方法を紹介し、情熱をもって参加してもらうことです。すべてのクラブに通用する1つの会員増強策があるわけではありませんが、国際ロータリーでは、クラブが独自の方法を見つけるためのツールや資料を提供しています。

1. クラブの現状評価：会員基盤は地域社会の人口構成を反映したのものとなっているでしょうか。地域社会が求め、地元市民たちも参加できるような奉仕活動をしていますか。会員は楽しみ、満足していますか。退会の理由は何でしょうか。My ROTARYには、クラブの現状評価に役立つ資料やオンラインコースが用意されており、これらを活用してクラブの強みと課題を探ることができます。
2. 柔軟な運営：ロータリークラブは、会員のニーズに応えるために柔軟な運営を取り入れることができます。いつ、どのくらいの頻度で、どのような形式で例会を開くか、どのような会員種類を設けるかを、クラブが独自に決めることができます。

インスピレーションになろう

## 例会報告

3. 入会候補者情報プログラム: ロータリーウェブサイトから情報を寄せた入会希望者(入会候補者)の情報を活用しましょう。クラブリーダーは、My ROTARYの「入会候補者情報の管理」のページから、入会候補者情報を見ることができます。

クラブの課題を突き止めたり、柔軟な運営の方法を学んだりする上で役立つツールやオンラインコースを、My ROTARYからご利用いただけます。

「クラブの健康チェック」は、クラブの強みや改善点を探るのに役立つ資料です。また、「会員増強のための評価ツール」には、クラブでの入退会の傾向を探り、入会候補者を見つけ、会員の多様化を図る方法が紹介されています。これらの資料は [rotary.org/ja/membership](http://rotary.org/ja/membership) からダウンロードできます。

ロータリーのラーニングセンター(Learn.rotary.org)からは、会員増強策を考える上で参考になる各種オンラインコースが利用できます。これらのコースは、起こりうるシナリオに沿って、会員の満足度を高めるさまざまなアイデアも紹介しています。

世界各地のクラブが、「新しい例会形式」「例会の頻度と時間を柔軟に設定」「新しい会員種類」の、主に3つの方法で柔軟な運営を取り入れています。新しい会員種類を設けることで、地域社会の幅広い人にロータリーを体験してもらうことができます。詳しくは、[rotary.org/ja/flexibility](http://rotary.org/ja/flexibility) をご覧ください。クラブは、次のような方法で、会員や地域の人びとの多様なニーズに応えることができるでしょう。

- ・例会に出席できないけれど入会の資格があるという人に入会のチャンスを与えるため、衛星クラブを設立する。
- ・例会の頻度、時間、形式を変える。例えば、例会を月に2回とする、従来の例会のほかにも、もう少しカジュアルな(費用も抑えた)形で集まる、などの方法です。
- ・ローターアクターは、ローターアクトクラブに所属すると同時に、ロータリークラブに入会することができます。また、ローターアクターが自分たちでロータリークラブを結成することも可能です。
- ・新しい会員種類を設ける。例えば、一つの企業から数人が入会できる「法人会員」、若い職業人のために低い会費で出席要件を和らげた「準会員」など。
- ・毎回の例会に足を運ぶことができない人も入会できるよう、オンラインでの例会出席を認める。
- ・水問題や平和など、特定の分野に情熱をもつ人びとの参加を促すために、活動分野を絞ったクラブの設立を検討する。

クラブの新会員探しをお手伝いするロータリーの「入会候補者情報プログラム」は、まだ十分に活用されていません。このプログラムは、ロータリーのウェブサイトを通じて入会への関心を寄せた人を、最寄りのクラブに紹介するプログラムです。

入会に関心のある人がロータリーウェブサイトから情報を寄せると、ロータリー本部が審査した上で、My ROTARYの「入会候補者情報の管理」のページを通じて情報が最寄りの地区に送られます。その後、地区が情報を審査し、候補者にあつたクラブを選びます。My ROTARY上で管理されるため、入会候補者のその後の状況(紹介済み、連絡済み、入会済みなど)を、指定された地区とクラブのリーダーがいつでも確認できます。

昨年、オンラインで情報を寄せた入会候補者数は約18,000人でした。このうち半数がロータリーと何らかの形でつながることができましたが、クラブに指定された候補者のうち、実際にクラブから連絡が行われたのはわずか3分の1であるとされています。

入会への関心を寄せた人に対してクラブが連絡しなければ、クラブを成長させる機会を逃してしまうだけでなく、地域社会の人との関係を築き、ロータリーに良い印象を抱いてもらうチャンスを逃してしまうことにもなります。

国際ロータリーでは、会員増強におけるクラブの成功事例を集め

ています。革新性や柔軟性を取り入れたクラブのストーリーを、「Membership Minute(会員増強詳細報告)」ニュースレター、「ロータリーボイス」のブログ、『The Rotarian』誌、ソーシャルメディア等で、随時ご紹介しています。また、My ROTARYのフォーラムにある「Membership Best Practices」グループで、会員同士が情報やアイデアを交換することもできます。

ロータリアンは、人々のより良い生活のために、それぞれの経験と知識を生かして、地域社会に奉仕しています。ロータリアンとなることで、貴重な体験を味わい、リーダーとしてのスキルを高め、仲間と出会うことができます。

冒頭で申し上げたように、会員はロータリーで最も大切な財産です。多様な職業や年齢、性別の会員たちが、手を取り合って地域社会に貢献しています。ビジョン声明が掲げるように、「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」

ご質問がある方はお知らせください。ご清聴ありがとうございます。



### <ニコニコボックス>

#### ●門前 庄次郎さん、田中 正躬さん

7月29日(日)地区の合同研修会に参加された内田AG、古橋さん、萱垣さん、大前さん、ご苦労様でした。どこかで研修の報告をお願いしたいと思っています。よろしくお願ひします。8月は来週「納涼ゆかた例会」お盆を挟んで「ソフトミニバレー大会」と移動例会が続きます。お間違えないようにお願ひします。そして今日は会員増強委員会の担当例会です。山下委員長よろしくお願ひします。

#### ●新井 典仁さん 「ニコニコ預り金制度について」

今年度よりニコニコ預り金制度という画期的な制度を導入しております。例会を休んでもニコニコの拠出金出来るという非常に便利な制度でございます。ぜひご利用いただければと思います。1万円からお預けいただけますので、いつでもニコニコ委員にお尋ね下さい。私も1万円預けたいと思います。宜しくお願ひいたします。

#### ●大前 克秀さん

全国古民家再生協会の月刊誌「ジャバトラ」を配布させていただきました。一読していただければ幸いです。

#### ●伊藤 松寿さん、岡田 賛三さん、内田 幸洋さん、田中 武さん、遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん、井上 正さん、新井 典仁さん、山下 直哉さん、松川 英明さん

国際ロータリー第2630地区研修委員会・情報委員会・職業奉仕委員会合同研修セミナー、内田さん、古橋さん、萱垣さん、大前さん、お疲れさまでした。

インスピレーションになろう